



2019年2月27日

各 位

会社名 日本鑄鉄管株式会社  
代表者名 代表取締役社長 日下修一  
(コード番号 5612 東証第1部)  
問合せ先 取締役管理本部長 井澤信之  
(TEL. 03-3546-7673)

日本鑄鉄管株式会社は、米国 **FRACTA** 社の **AI/機械学習** を用いた  
水道管路劣化診断技術の試行を、川崎市上下水道局様と開始致します。

日本鑄鉄管株式会社  
F R A C T A

日本鑄鉄管株式会社（東京都中央区、代表取締役社長：日下修一、以下、日本鑄鉄管）と  
**FRACTA**（米国カリフォルニア州、CEO 加藤崇、以下、**FRACTA** 社）は、2019年2月、  
川崎市上下水道局様と **AI**（人工知能）/機械学習を用いた水道管路劣化診断の試行に関する覚書  
を締結し、川崎市上下水道局様における水道管路の状態を **FRACTA** 社の **AI/機械学習** を用いた  
水道管路劣化診断技術によって解析し、管路の破損確率を可視化、その精度を検証する取組みに  
着手いたしました。

**FRACTA** 社は、日本と比較して破損・漏水事故例の非常に多い米国にて機械学習を積み重ね  
**AI** を活用した水道管路劣化診断技術を確立し、全米16州において、30を超える水道会社に  
**AI** を用いたソフトウェア・サービスを提供しています。

**FRACTA-AI** 水道管路劣化診断は、**AI/機械学習**・地理情報データベースを駆使し、各配管  
の破損確率を算出し可視化します。地中にある水道管の劣化具合をより正確に評価し、最も破損  
確率の高い配管に狙いを定めて更新することが可能となります。上水道管路整備における莫大な  
更新費用を最適化することが可能となり、同時に配管の破損・漏水を最小限に抑えられます。

日本鑄鉄管と **FRACTA** 社は、日本市場への適用準備のため2018年9月にパートナーシップ  
契約を締結し、国内水道事業者への展開を始めました。

今回、川崎市上下水道局様の水道管路情報と各種データの収集・分析を通じて、2019年末頃  
までに解析を進め、日本版アルゴリズムを構築いたします。この有効性が検証でき国内への適用  
準備が完了次第、日本鑄鉄管が **FRACTA** 社の代理店として、共同して日本市場への販売を展開  
する予定です。

本件による当社の2018年度連結業績予想への影響はありません。

以上